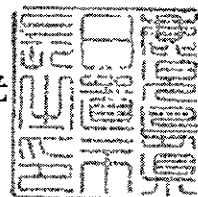


日土第 212 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

日置市長 宮路 高光



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県日置市

・道路行政については、人口密度等数字だけでは判断できないと考える。地方には田・畑・山林という財産があり、これらを管理するためには道路がないと管理が出来ない。日本の産業発展は都市と地方の相互補完によって成り立っていると思うので、国土の崩壊及び地方の衰退に繋がらないような道路整備をすべきである。

・財政面においては、地方における生活重視、物流システム全体の効率化、災害に対する安全性の向上、広域的な交流連携等の観点からの道路整備にかかる安定した財源の確保が必要である。

・ハード面においては、少子高齢化社会に対応すべく安全に重きを置いた道路整備の観点から、特に児童・生徒の通学路における歩道の整備、また高齢者など日常生活における安全性のための整備が必要である

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

鹿児島県日置市

○ 現状 ・当市は平成 17 年 5 月に 4 町が合併して誕生した市であり、旧町間において交流機会や新市中心部へのアクセス等が均衡といえない。 ・地方においては過疎化・少子高齢化が急ピッチで進んでおり、周辺部の振興が課題となっている。 原因の一つに生活基盤である道路の整備が遅れているため、若者が都市部（中心部）へ出て行く傾向がある。 ・当市は県都鹿児島市に近接しており、日常生活においても鹿児島市と深いつながりがある。また、南九州西回り自動車道の伊集院インターチェンジの他に美山インター（ハーフ）も平成 20 年 3 月に開通し周辺の道路整備が進んできている。南部地域では、県事業により広域営農団地農道整備事業が全線開通を平成 21 年度として整備中で、開通後は南部地域全体の内部流通、市場流通に対応可能となる。九州新幹線も 2011 年を目標に全線開通を目指して整備が進められており、高速交通網を含めた道路網が向上している。	○ 課題 ・地域間や山間地集落から中心部へのアクセス強化を図ることにより新市の交流を促進し、快適性を確保することが急務であり、これにより市町村合併効果を支援するものと思われる。 ・生活道路の整備により利便性が高まり、通学路の安全確保の向上とともに、若者世代の呼び戻し・定住化による地域の活性化を図りたい。 ・周辺部の生活環境を守るための道路整備が合併前からの継続事業として実施されており、今後の事業採択や財源確保が課題となっている。 ・今後、周辺部の住民の生活を守るための足を確保する必要から、循環バスの運行に加え乗り合いタクシー（デマント型）などの交通手段を取り入れる必要がある。このため、循環バス等の運行に対応する道路環境の整備や救急車、消防車など不慮の事故や災害等に対応する道路整備を進める必要がある。
--	---

②－２ 地域の目指すべき将来像

鹿児島県日置市

- ・ 地理的特性を生かした魅力あるまちづくり

当市は、県都鹿児島市と隣接しており、日常生活においても深いつながりがある。この地理的特性を最大限に生かしながら社会基盤の整備を進め、産業の振興と定住人口の増加を図り、魅力あるまちづくりを進める。

- ・ 地域資源の持つ可能性を生かした個性ある産業振興のまちづくり

豊富な歴史的・文化的遺産や自然資源を生かした農業、林業、水産業、観光等の効果的活用の為の個性ある産業振興のまちづくりを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

①道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

鹿児島県日置市

○ 重点事項 ・どこに住んでいても不便さを感じない都市基盤づくり	○ 代表事例 ・市内外の移動を円滑に進める道路、交通網の確立 ・本市には地域の農業を支える地産地消の拠点施設が大小 9 箇所あり、高齢者の生きがい対策や地域の雇用創出に大いに役立っている。この中で、国道 270 号の海岸線沿いにある物産館「江口蓬萊館」は九州でも有数の売上実績を誇る物産館となっているが、平成 20 年この物産館の近くを通っている南九州西回り自動車道において、市単独による美山インターが整備開設されたことに伴い人の流れが活発化しており、地域内の産業振興、交通利便性の向上に貢献している。このインターは、当初国が進める道路づくり計画に無く多額の財源を要して市単独で整備したものであるが、産業振興や交通の利便性、県都鹿児島市からのアクセス向上に役立ち今後益々利用促進が期待される。	○ 期待する効果や評価等 ・市内での移動を円滑にし、災害時にも対応できる。 ・幹線道路の整備により、通勤の利便性向上や観光・交流の促進になる。 ・地域間の交流促進により、地方過疎化や少子高齢化の改善が図れる。 ・効率的な物流ネットワークが形成され、産業振興が図られる。	○その他
---	--	--	-------------